

教育内容

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書	
専門基礎分野	専門基礎分野目標: 人体を系統立てて理解し、健康、疾病、障害に関する観察力、判断力を強化する。また、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的能力を養う。								
	人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	2	60	実 【1年通年】	人体の正常な形態、構造について系統的に学び、生命現象の意味を看護学の視点で理解する。 【設定理由】 人体の構造を系統的に理解し、看護の視点で活用できるように総合的に学ぶ。	① 1-5 第1章 解剖生理学の基礎知識 形からみた人体 素材からみた人体 機能からみた人体 6-9 第7章 身体支持与運動 骨格とはどのようなものか 骨の連結 骨格筋 体幹の骨格と筋 上肢、下肢の骨格と筋 頭頸部の骨格と筋 10-15 第4章 血液の循環とその調節 循環器系の構造 心臓の拍出機能 末梢循環系の構造 血液の循環の調節 リンパとリンパ管16-19 ② 1-4 第2章 栄養の消化と吸収 口、咽頭、食道の構造と機能 腹部消化器の構造と機能 膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能 5-10 第3章 呼吸と血液の働き 吸器の構造 呼吸、血液 11-15 第5章 体液の調節と尿の生成	専門基礎分野 「解剖生理学」	
		解剖生理学Ⅱ	2	45	実 【2年通年】		1-5 第8章 情報の受容と処理 神経系の構造と機能 脊髄と脳 脊髄神経と脳神経 脳の高次機能 運動機能、感覚機能と上行伝導路 眼の構造と視覚 味覚と嗅覚 痛み 耳の構造と聴覚・平衡覚 6-12 第10章 生殖・発生と老化のしくみ 男女生殖器 受精と胎児の発生 成長と老化 13-15 第7章 筋の収縮 16-18 第6章 内蔵機能の調節 自律神経、内分泌系による調節 全身の内分泌腺と内分泌細胞 ホルモン分泌の調節とその実際 19-20 第9章 身体機能の防御と適応 21-22 解剖見学・体表観察	専門基礎分野 「解剖生理学」	
		解剖生理学Ⅲ	1	15	実 【3年後期】	国家試験問題のティーチングが臨床判断能力につながることを理解する。 【設定理由】 看護師として常に解剖生理学に戻り、継続的に学んでゆくことの重要性を再認識する。	解剖生理学総まとめ及びティーチング 臨床に必要な知識のレクチャー 1 消化器系 2 呼吸器系 3 循環器系 4 腎、泌尿器系 5 血液、体液 6 脳神経系 7 骨、運動器、口腔 その他	専門基礎分野 「解剖生理学」	
		生化学	1	30	実 【1年前期】	生化学の基礎的知識を、網羅的、体系的に学び、人間の生命現象を科学的に理解する。 【設定理由】 人体の構成成分である物質代謝や遺伝形式、分子生物学の基礎知識を学び病態生理の理解に役立てる。	1 生化学を学ぶための基礎知識 2 代謝の基礎と酵素、補酵素 3. 4 糖質の構造と機能、糖質代謝 5. 6 脂質の構造と機能、脂質代謝 7. 8 タンパク質の構造と機能、タンパク質代謝 9 ポルフィリン代謝と異物代謝 10. 11 遺伝子と核酸、遺伝子の複製、修復、組換え 12. 13 転写、翻訳と翻訳後修復 14. 15 シグナル伝達とがん	専門基礎分野 「生化学」	
		栄養学	1	15	実 【1年前期】	栄養の意義及び栄養状態の判定、栄養によって健康を維持、向上させる方法を総合的に理解する。 【設定理由】 栄養学の知識を習得することで、食事の援助の専門性を高める。	1 人間栄養学と看護、栄養素の種類とはたらき 食物の消化と栄養素の吸収、代謝 2 エネルギー代謝、食事と食品 栄養ケア、マネジメント、栄養状態の評価、判定 ライフステージと栄養、臨床栄養、健康づくり 3 栄養食事療法とは 栄養食事療法の実際 4. 5 調理の実際 6. 7	専門基礎分野 「栄養学」 「栄養食事療法」	
		疾病の成り立ちと回復の促進	病理学総論	1	30	実 【1年後期】	人体組織における病的状態の原因、発生機序、経過について学び疾病の成り立ちについて看護学の視点で理解する。 【設定理由】 正常な人体の構造と機能の理解のもとに健康障害と回復過程の視点から科学的に健康状態を査定するための概要を学ぶ。	1 第1章 [病理学で学ぶこと] 2 第2章 [細胞、組織の障害と修復、炎症] 3. 4 第5章 [循環障害] 5. 6 第6章 [代謝障害] 7 第7章 [老化と死] 8 第8章 [先天異常と遺伝子異常] 9. 10 第3章 [免疫、移植と再生医療] 11 第4章 [感染症] 12. 13 第9章 [腫瘍] 14 臨床検査の基礎 臨床でよく行う検査 15 終講試験まとめ	専門基礎分野 「病理学」 「臨床検査」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	病態治療論Ⅰ	1	30	実 【1年後期】	呼吸機能障害、循環機能障害のメカニズムを捉え主な疾患の病態、治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 【設定理由】 主な呼吸循環機能障害の治療について、解剖生理学と関連させて学びを深める。	1 病態治療論科目ガイダンス、学習方法の説明 2-6 呼吸機能障害内科 呼吸器の構造と機能 内科的治療を行う主要疾患について [病態、症状、検査、治療、処置] 7. 8 呼吸機能障害外科 肺腫瘍、気胸、胸部外傷等の外科的治療 9-12 循環機能障害内科 循環器の構造と機能 内科的治療を行う主要疾患について [病態、症状、検査、治療、処置] 13. 14 先天性心疾患、弁膜症、血管の疾患等の外科的手術と術後管理 15 終講試験	専門分野 成人看護学 「呼吸器」 「循環器」
		病態治療論Ⅱ	1	15	実 【1年後期】	消化機能のメカニズムを捉え、主な疾患の病態、治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 【設定理由】 主な消化機能障害の治療について、解剖生理学と関連させて学びを深める。	1-3 消化器の構造と機能 内科的治療を行う主要疾患について [病態、症状、検査、治療、処置] 4-7 外科的治療を行う主要疾患について [病態、症状、検査、治療、処置] 7. 5 終講試験	専門分野 成人看護学 「消化器」
		病態治療論Ⅲ	1	30	実 【1年後期】	排泄機能、内分泌、代謝、血液・造血器、アレルギー、膠原病のメカニズムを捉え、主な疾患の病態、治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 【設定理由】 腎、泌尿器、内分泌疾患、血液、アレルギー、膠原病の治療について解剖生理学と関連させ学びを深める。	1-3 排泄機能障害内科 腎臓の構造と機能、主要症状と検査 腎臓機能障害による腎疾患の治療 4-5 排泄機能障害泌尿器科 泌尿器系の機能障害による病態と治療 6-8 内分泌、代謝機能障害 主な内分泌疾患と代謝疾患の病態と治療 9-12 血液造血器機能障害 赤血球系、白血球系、リンパ網内系疾患 異常タンパク血症、出血性疾患 等の病態と治療 13. 14 感染症、アレルギー-膠原病の病態と治療 15 終講試験	専門分野 成人看護学 「腎臓」 「内分泌代謝」 「血液造血器」 「アレルギー-膠原病感染症」
		病態治療論Ⅳ	1	15	実 【2年前期】	脳神経系のメカニズムを捉え主な疾患の病態、治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 【設定理由】 脳神経系の疾患について解剖生理と関連させ学びを深める。	1-4 脳神経機能障害内科 脳の構造と機能、脳血管障害、髄膜炎、脳炎 筋無力症、パーキンソン病、ALS等 主要疾患の病態と内科的治療 5-7 脳神経機能障害外科 脳内出血、頭部外傷、脳腫瘍等主要疾患の病態と外科的治療 7. 5 終講試験	専門分野 成人看護学 「脳・神経」
		病態治療論Ⅴ	1	15	実 【2年前期】	運動器障害、皮膚機能のメカニズムを捉え、主な疾患の病態・治療と生体に及ぼす影響について学ぶ。 【設定理由】 運動器疾患及び皮膚疾患について解剖生理と関連させ学びを深める。	1-5 外傷性、炎症性、腫瘍などの運動器障害について [病態、症状、検査、治療、処置] 6. 7 主な皮膚疾患の病態と治療 7. 5 終講試験	専門分野 成人看護学 「運動器」 「皮膚」
		病態治療論Ⅵ	1	30	実 【2年前期】	女性生殖器、眼、耳鼻咽喉のメカニズムを捉え、主な疾患の病態、治療と生体に及ぼす影響を学ぶ。 【設定理由】 性教育を自分のこととして捉えると共に、成長過程で体験していることが多い、眼、感覚器の疾患について解剖生理学と関連させて学ぶ。	1. 2 性行為感染症、性教育 3-6 主な女性生殖器疾患の病態と治療 7-8 乳腺の疾患と治療 9-11 主な感覚器系疾患の病態、検査、治療 中耳炎、扁桃炎、メニエール病、難聴等 12-14 主な眼の疾患の病態と治療 15 終講試験 まとめ	専門分野 成人看護学 「女性生殖器」 「眼」 「耳鼻咽喉」
		看護と病態治療	1	30	実 【2年前期】	病態生理学を学ぶことで、そのなわかれた生理機能を回復したり、失われた機能を補填するにはどうすれば良いかを知り、治療や援助につなげる根拠を知る。 【設定理由】 疾病の理解だけでなく、患者に対する援助を行う際の根拠を学ぶ。	1 病態生理学を学ぶための基礎知識 2 呼吸・循環のしくみと病態生理 3 消化吸収のしくみと病態生理 4 腎泌尿器のしくみと病態生理 5 内分泌、代謝のしくみと病態生理 6-14 脳、神経のはたらきと病態生理 15 GW 学びの共有 実力試験	専門基礎分野「病態生理学」
		微生物学	1	30	実 【1年前期】	微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解し、臨床上に重要な感染症に対する予防策について学ぶ。 【設定理由】 微生物と生体の関係を明確にし、看護の視点で現在の感染症が強毒菌による頻度の低下と耐性菌の脅威の中にあることを理解する。	1 微生物と微生物学 2. 3 細菌、真菌、原虫、ウイルスの性質 4. 5 感染と感染症 6. 7 感染に対する生体防御機能 8. 9 感染源、感染経路からみた感染症 10. 11 滅菌と消毒、感染症の検査と診断 12. 13 感染症の治療、感染症の現状と対策 14. 15 主な病原微生物と感染症	専門基礎分野「微生物学」

分野	教育内容	科目名称	単位	時間	担当講師 【開講時期】	科目目標 【設定理由】	科目内容	医学書院 教科書
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	臨床薬理学	1	30	【1年後期】	薬物の特性、作用、副作用、生体に及ぼす影響について学び薬物使用、管理について理解する。 【設定理由】 薬物の薬理作用及び人体への影響と薬物管理について学び臨床で有害作用を早期発見、対応できるようにする。	1 第1章 薬理学を学ぶにあたって 2 第2章 薬理学の基礎知識 3 第7章 末梢での神経活動に作用する薬物 4. 5 第8章 中枢神経系に作用する薬物 6 第6章 抗アレルギー薬、抗炎症薬 7 第12章 皮膚科用薬・眼科用薬 8 第13章 救急の際に使用される薬物 9 第9章 循環器系に作用する薬物 10 第10章 呼吸器、消化器 11 生殖器系作用の薬物 12 第11章 物質代謝に作用する薬物 13 第3章 抗感染薬 14 第5章 免疫治療薬 15 第4章 抗がん薬 第14章・第15章 漢方薬・消毒薬	専門基礎分野「薬理学」
		総合医療論	1	15	【1年前期】	医療や看護のしくみ、医療の変遷、健康や病気の概念を理解し現代医療の課題とそれに対する新しい視点を学ぶ。 【設定理由】 健康への理解を深め、自らの健康について考え、ニーズの多様化に伴う医療のあり方を考える。	1 第1章 医療と看護の原点(病と癒し) 2 第2章 医療の歩みと医療観の変遷 3 第3章 私たちの生活と健康 4 第4章 科学技術の進歩と現代医療の最前線 5 第5章 現代医療の新たな課題 6 第6章 医療を見つめ直す新しい視点 7 第7章 保健・医療・福祉の潮流	専門基礎分野「総合医療論」
		看護と公衆衛生	2	30	【2年前期】	社会における公衆衛生学の目的を医療・看護の視点から捉え、健康的な生活、福祉社会をつくりあげる重要性、活動について理解する。 【設定理由】 人々の健康の保持増進のために公衆衛生活動と現代医療の諸問題と在り方について学び看護の役割を考える。人間を取り巻く環境について現状と問題を理解し対策や活動の理解を深める。	① 1 序章 公衆衛生を学ぶにあたって 2 第1章 公衆衛生のエッセンス 3 第2章 公衆衛生の活動対象 4 第3章 公衆衛生のしくみ 5 第4章 集団の健康をとらえるための手法(疫学・保健統計) 6 第5章 環境と健康 7 第7章 国際保健 7. 5 終講試験 ② 1 第6章 感染症とその予防対策 2. 3. 4 第8章 地域における公衆衛生の実際 5 第9章 学校と健康 6 第10章 職場と健康 7 第11章 健康危機管理・災害保健 7. 5 終講試験	専門基礎分野「公衆衛生」
		社会福祉	2	30	【2年通年】	社会保障制度及び社会福祉の理論と制度を知り保健医療福祉との連携の必要性と活用方法を理解する。 【設定理由】 社会保障制度の意義や社会資源の活用を知り、継続看護のコーディネーターとしての自覚と責任を学ぶ。	1 第1章 社会保障制度と社会福祉 2 第2章 現代社会の変化と社会保障 3. 4 第3章 社会福祉の動向 5. 6 第4章 医療保障 7. 8 第5章 介護保障 9. 10 第6章 所得保障 11. 12 第7章 公的扶助 13. 14 第8章 社会福祉の分野とサービス 15 第9章 社会福祉実践と医療・看護 社会福祉の歴史	専門基礎分野「社会保障・社会福祉」
関係法規	1	30	【2年通年】	看護業務に携わる人の身分や業務について理解し、国民の健康な生活を維持するために必要な法令を理解する。 【設定理由】 生活が法によって守られ、つくられる現状を理解し、看護職に必要な法令の解釈と活用方法について理解する。	1 看護師が法律を学ぶ目的 学習内容の概要 2 看護を取り巻く社会の現状と看護の対象および看護者の人生 3 重要な法改正 4 生命の始期・終期を考える(法と倫理の裕) 5 看護行為の法的性格についての考察 6 看護職・看護学生にとっての基本法 保健師助産師看護師法の解釈 7 現行法規総覧・衛生法規一覧・保健衛生法規 8 予防衛生法規・医事関係法規・薬事関係法規 9 環境衛生法規・公害関係法規・労働関係法規 学校関係法規 10 社会保障制度の概要・社会保障制度の概説 11 公的扶助制度の概説 12 社会福祉制度の概説 (概要→児童福祉→母子福祉) 13 社会福祉制度の概説(障害福祉→高齢者福祉) 14 社会福祉制度の概説 (被災者福祉→貧困者福祉→補遺) 15 医療関連の手帳・記録 医療・福祉に関する施設一覧	看護学生のための法規と社会保障制度「ふくろう出版」		

「実」は、実務経験を有する教員